

様式第七(第九条関係)

特定施設使用届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先)
公共下水道管理者 殿
海老名市長

申請者
住所

氏名
(氏名又は名称及び法人に
あつてはその代表者の氏名)
電話番号

【届出者が法人の場合】
名称・本社住所及び代表者職氏名を
記載する。
【届出者が個人の場合】
事業主の住所・氏名を記入する。

{ 下水道法第12条の3第2項(下水道法第25条の30第1項において準用する同法第12条の3第2項)
下水道法第12条の3第3項(下水道法第25条の30第1項において準用する同法第12条の3第3項)
の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。 }

工場 又は 事業場 の名称	株〇〇 〇〇事業所	※整理番号	
工場 又は 事業場 の所在地	海老名市〇〇 〇丁目〇番〇号	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	71 自動式車両洗淨施設	※施設番号	
△特定施設の構造	別紙のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	別紙のとおり。	※備 考	
△汚水の処理の方法	別紙のとおり。		
△下水の量及び水質	別紙のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

備 考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

別紙 1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1	特定施設ごとに記載 型式が同じものは、まとめて記載可
特定施設号番号及び名称	71 自動式車両洗淨施設	
型 式	自動洗車機 △△△社製 A-1型	施設のメーカー名、 型式等を記入する
構 造	鉄鋼製 (構造図 添付■図参照)	施設の構造材料・材質等を記入 原則、構造・寸法が記載されている 施設のカタログ・構造図等を添付
主要寸法	装置全体 ○○○○×○○○○×○○○○ (H) mm	
能 力	普通自動車標準洗車 180秒/台 1日平均洗車台数 50台	原則、想定される1日の最大作業時 間で稼働させた場合の能力を記入
配 置	店舗横 (添付第▲図参照)	事業場内の建物名、位置等を明記し、 特定施設等の配置が分かる図を添付
設 置 年 月 日	令和 ○○年 ○○月 ○○日	工事着手予定年月日は、 受理書発行から原則60日以降
工事着手予定年月日	令和 ○○年 ○○月 ○○日	
工事完成予定年月日	令和 ○○年 ○○月 ○○日	
使用開始予定年月日	令和 ○○年 ○○月 ○○日	
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1				別紙1と同じ内容を記入	
特定施設号番号及び名称	71 自動式車両洗淨施設					
設置場所	店舗横 (添付第▲図参照)				特定施設を含む操業の系統を記入 必要であれば別紙にフローシートを添付 工場の場合は原料から出荷までの特定施設の 排水の発生箇所を含めて記入	
操業の系統	ブラシ洗車→洗淨→ブロー					
使用時間間隔	断続					
1日当たりの使用時間	営業時間AM7:00~PM10:00					
使用の季節的変動	なし				季節変動がある場合に記入 (例) 12月~1月 少ない	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	洗剤〇〇mL/日 ワックス〇〇mL/日 詳細は別紙成分表参照				特定施設を含む作業工程に使用する原材料(消耗資材を含む)の種類・使用方法及び1日当たりの使用料を記入 また、有害物質が含まれる場合はその種類も記入	
汚水の 水質	種類・項目	通常	最大	通常	最大	当該施設から排出される汚水について、 種類・項目は原材料等から排出する恐れのあるものを、通常・最大において記入 また、測定結果が無い場合は設計値を記入
	水温	20	30			
	pH	7.0	8.0			
	BOD	100	200			
	浮遊物質(SS)	30	60			
	n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)	40	80			
	沃素消費量	10	20			
汚水の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大		
	2.5	4.0				
その他参考となるべき事項					排水せず産廃処理する場合等に記入	

備考 汚水の水質の欄には、当該特定事業場から排除される下水に係る水質基準が定められた事項について記載すること。

別紙3

汚水等の処理の方法

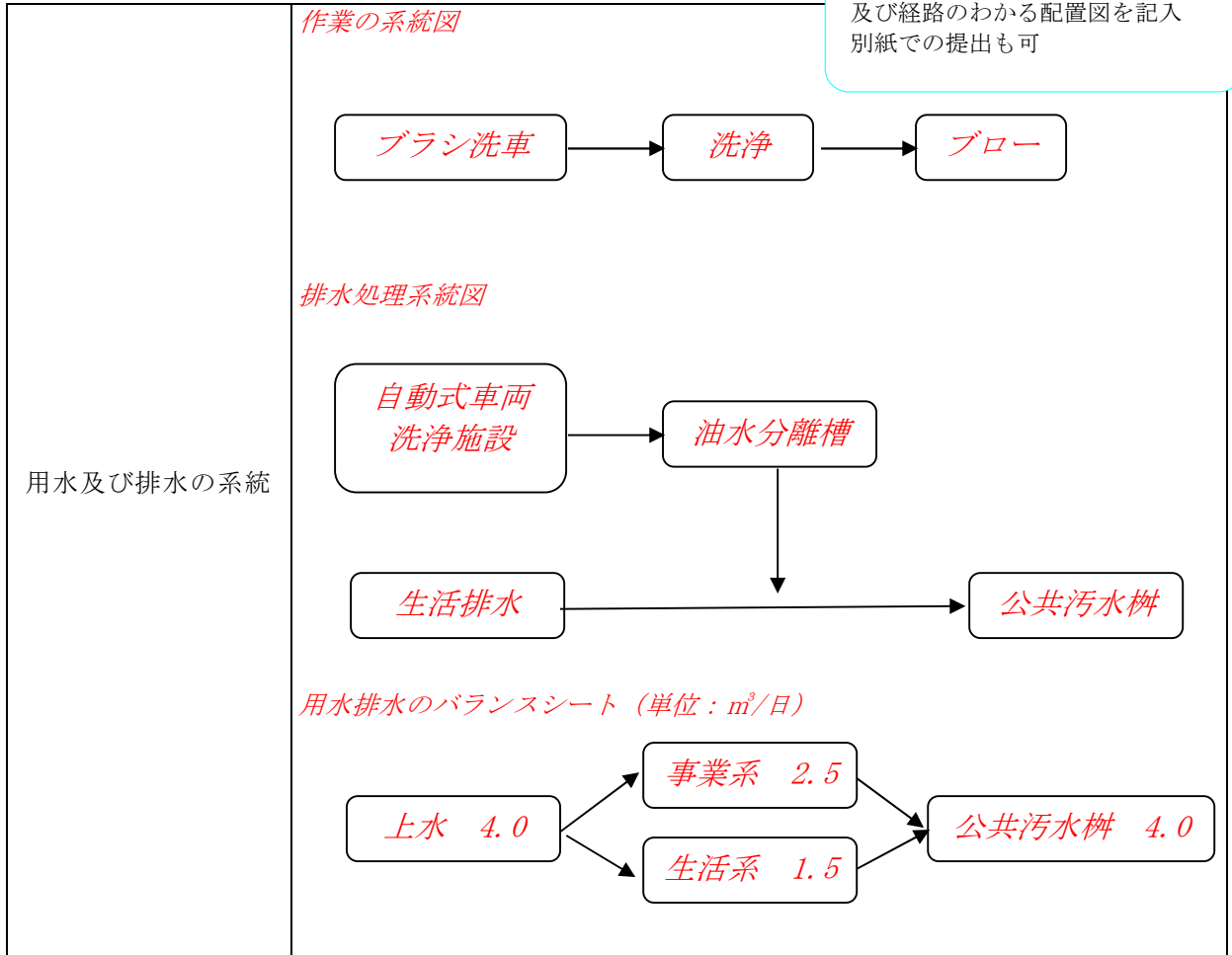
工場又は事業場における施設名称及び番号	油水分離槽				当該処理施設（除害施設）を特定できるように、事業場内で用いている番号や名称を記入				
処理施設の設置場所	添付▲図のとおり				特定施設の排水以外の汚水の処理をしている処理施設についても記入する				
設置年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日				
工事着手予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日				
工事完成予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日				
使用開始予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日				
種類及び型式	油水分離槽（4槽式）								
構造	施設構造は、添付◆図のとおり 配置は、添付▲図のとおり				施設構造は、添付 図のとおり 配置は、添付 図のとおり				
主要寸法	添付◆図のとおり				添付 図のとおり				
能力	38.4 m ³ /日				1日当りの処理能力を記入				
処理の方式	グリーストラップ								
処理の系統	添付▲▲図のとおり				構造図・設計計画書・性能保証値・処理施設までの修水導水方法を記載した図面を添付				
集水及び導水の方法	添付▲▲図のとおり								
使用時間間隔	断続								
1日当たりの使用時間	AM7:00~PM10:00								
使用の季節変動	なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	なし								
汚水の水質及び汚水量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	水温	20	20	30	30				
	pH	7.0	7.0	8.0	7.0				
	BOD	100	50	200	100				
	浮遊物質（SS）	30	15	60	30				
	n-ヘキサン抽出物質（鉱油類）	40	8	80	16				
	沃素消費量	10	5	20	10				
	汚水量（m ³ /日）	2.5	2.5	4.0	4.0				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	泥・砂・ワックス等 15kg/月 沈殿汚泥を産業廃棄物処理業者にて回収・処分				残さの種類ごとに記入 脱水装置等で汚泥処理をする場合は、脱水後の重量を記入				
汚水の排除方法	生活排水と合流後公共汚水桝へ排出								
その他参考となるべき事項	汚泥処理業者：(株)◇▽クリーン								

備考 1 汚水の水質及び汚水量の欄には、当該特定事業場から排除される下水に係る水質基準が定められた事項について記載すること。

2 汚水の排除方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

用水及び排水の系統

用水及び排水について、フロー図及び経路のわかる配置図を記入別紙での提出も可



用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)
	事業用	水道水	2.5
	生活用	水道水	1.5
	用途別の使用水量について記載 冷却水については、直接冷却水と 間接冷却水に分けて記入 使用水は水道水・地下水・循環水 等を明記		
	合計		4.0

添付する図面等に番号を振り、対応する番号を記入

その他参考事項

1 添付図面等一覧

No.	名 称
	特定施設の構造、使用の方法
1	特定施設及びこれに関連する主要施設の配置図
2	特定施設の設置場所
3	特定施設を含む操業の系統
	汚水の処理の方法、下水の量及び水質、用水及び排水の系統
4	汚水等の処理施設の設置場所 汚水等の処理施設までの導水の方法 用水及び排水の系統 汚水等の公共下水道への排除の方法
5	汚水等処理施設の構造図（工程系） 汚水等処理施設の構造図（生活系）
6	汚水等処理施設の配置図
7	汚水等の処理の系統（工程系） 汚水等の処理の系統（生活系）
8	汚水等の処理施設の設計計算書
9	用排水のバランスシート
10	その他、案内図

2 届出理由

店舗新設に伴い、自動式車両洗淨機を設置する。

3 他法令による許可・届出の状況（手続）

水質汚濁防止法	不要・未了・完了

4 特定施設一覧

水質汚濁防止法施行令 別表第1の番号又は ダイオキシン特別措置法 施行令別表第2の番号	特 定 施 設 の 名 称	今回届出後の台数
71	自動式車両洗淨施設	1

5 工場等概要

資 本 金	千円	従業員数	人	業種（細分類）	
主 要 製 品				操業時間	時 ~ 時
用 途 地 域		敷地面積		建物面積	
担当部課名		担当者名		電 話	

- ・従業員数は届出に係る事業場の従業員のみ（本社・他の工場等を含めない）
- ・担当部課名、担当者名は本社ではなく、事業場の担当者を記入